



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社 コモ

上場取引所 東名

コード番号 2224 URL <http://www.como.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 克己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 財務経理部長兼経営企画室長 (氏名) 平光 伸行

TEL 0568-73-7050

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,514	3.6	425	8.1	426	8.3	280	5.3
2020年3月期	6,289	8.6	393	66.1	393	60.5	266	72.8

(注) 包括利益 2021年3月期 284百万円 (8.7%) 2020年3月期 261百万円 (78.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	80.67		16.2	9.4	6.5
2020年3月期	76.61		18.0	8.6	6.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	4,660	1,858	39.9	534.88
2020年3月期	4,410	1,598	36.2	460.08

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,858百万円 2020年3月期 1,598百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	607	514	106	329
2020年3月期	352	212	458	342

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		7.00	7.00	24	9.1	1.6
2021年3月期		0.00		10.00	10.00	34	12.4	2.0
2022年3月期(予想)		0.00		7.00	7.00		11.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,526		335		330		210		60.44

(注) 2022年3月期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準を適用した金額となっており、対前期増減率は記載していません。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	3,630,000 株	2020年3月期	3,630,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	155,353 株	2020年3月期	155,310 株
期中平均株式数	2021年3月期	3,474,682 株	2020年3月期	3,474,728 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3'1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通しをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の全世界的な感染拡大により、企業収益、雇用情勢等が大幅に悪化しました。

当業界におきましては、コロナ禍の収束が見通せない状況が続くなか、不要不急の外出の自粛、テレワークの普及等在宅機会の増加により内食需要が高まったものの、所得環境の悪化に対する不安から消費者の節約志向・生活防衛意識が強まったことにより、引き続き厳しい経営環境となりました。

こうしたなか、当社グループは、パネトーネ種の特長を活かした新製品の開発、品質の改良、新たな販路の開拓等に努めました。新製品としましては、岐阜県商工会議所との共同開発によるリトアニア産ドライフルーツを使用した「リトアニアの森」「リトアニアの実り」を数量限定で発売したほか、PB製品4品を発売しました。

売上高につきましては、自動販売機オペレーターにおいてテレワークの浸透等職域での勤務態様の変化等により一部の設置先で販売が落ち込んだものの、内食関連需要が高まったこと等の影響から、生活協同組合、量販店、通信販売等において順調に推移し、前連結会計年度実績を上回る結果となりました。

利益面につきましては、生産量の増加に伴う労務費負担の増大、製造設備整備費用の増加等はあったものの、売上高の増加に加え、コロナ禍において営業・販売促進活動が制限されたこと、その他経費削減に注力したこと等により、前連結会計年度実績を上回る結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高65億1千4百万円（前連結会計年度比3.6%増）、経常利益4億2千6百万円（前連結会計年度比8.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2億8千万円（前連結会計年度比5.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億4千9百万円増加し、46億6千万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4千1百万円増加し、14億8百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少（1千3百万円）、製品の増加（1千9百万円）、前払費用の増加（1千1百万円）等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億7百万円増加し、32億5千2百万円となりました。これは主に機械装置及び運搬具の増加（2億1千万円）、リース資産の減少（1千9百万円）等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1千万円減少し、28億2百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5千9百万円増加し、18億7千6百万円となりました。これは主に短期借入金の増加（5千万円）、未払法人税等の増加（1千7百万円）、未払金の減少（1千3百万円）等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ6千9百万円減少し、9億2千6百万円となりました。これは主に長期借入金の減少（5千3百万円）、リース債務の減少（1千9百万円）等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億5千9百万円増加し、18億5千8百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（2億5千5百万円）等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1千3百万円減少（前年同期比4.1%減）し、当連結会計年度末には3億2千9百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6億7百万円（前年同期比72.5%増）となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益（4億2千2百万円）、減価償却費（3億2千1百万円）、法人税等の支払（1億2千5百万円）等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億1千4百万円（前年同期比142.8%増）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出（4億8千9百万円）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億6百万円（前年同期比76.8%減）となりました。

これは主に短期借入金の純増加額（5千万円）、長期借入金の借入による収入（1億円）、長期借入金の返済による支出（1億5千8百万円）、配当金の支払額（2千4百万円）、リース債務の返済による支出（7千3百万円）等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	26.5	26.5	28.4	36.2	39.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	197.3	183.6	171.8	187.5	193.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	4.7	3.6	3.9	5.2	3.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	27.9	38.9	35.7	22.9	46.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の経営環境につきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及により回復基調で推移することが期待されるものの、変異ウイルスの感染拡大、金融資本市場や国際情勢の動向等景気の下振れリスクも大きく、経営環境は引き続き厳しいものとなることが予想されます。

こうしたなかで、2022年3月期の経営方針として、①独自の商品力で需要開拓し、戦略的な営業推進と収益力アップ、②業務プロセスの効率化と徹底的なコスト削減、③全員参加で現場力を向上、という目標を掲げ、経営基盤強化に向けた活動を継続してまいります。その取組としましては、当社製品の根幹であるパネトーネ種の特長を活かし、長寿社会や健康志向等に対応した付加価値の高い製品により新たな需要を掘り起こし、積極的に販路を開拓していくとともに、取引採算の改善、デジタルトランスフォーメーションへの取組による業務の合理化等により収益性の向上を図ってまいります。また、生産ラインの安定稼働、厳正な品質管理、HACCP制度化対応、事故防止対策の徹底等を基本として業務プロセスの見直しを行うとともに生産性向上活動を推進してまいります。さらに、食の安全・安心に対する責任感、使命感を持った人材の育成のために従業員教育の充実を図ることで、現場力の向上に注力してまいります。

以上によりまして、次期の見通しにつきましては、売上高65億2千6百万円、営業利益3億3千5百万円、経常利益3億3千万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億1千万円を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	342,992	329,090
受取手形及び売掛金	865,298	863,216
商品及び製品	47,460	66,565
仕掛品	9,578	8,621
原材料及び貯蔵品	81,679	85,622
前払費用	17,979	29,520
未収消費税等	—	23,889
その他	1,558	1,885
貸倒引当金	△71	△88
流動資産合計	1,366,475	1,408,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,858,405	1,908,464
減価償却累計額	△1,375,746	△1,421,811
建物及び構築物 (純額)	482,658	486,652
機械装置及び運搬具	4,444,133	4,725,875
減価償却累計額	△3,828,486	△3,899,350
機械装置及び運搬具 (純額)	615,647	826,525
土地	1,356,957	1,356,957
リース資産	406,190	395,599
減価償却累計額	△209,918	△218,517
リース資産 (純額)	196,271	177,082
その他	263,153	277,985
減価償却累計額	△222,328	△238,507
その他 (純額)	40,824	39,477
建設仮勘定	—	10,530
有形固定資産合計	2,692,359	2,897,224
無形固定資産	53,467	48,832
投資その他の資産		
投資有価証券	143,741	149,541
繰延税金資産	75,533	73,010
その他	79,252	83,794
貸倒引当金	—	△54
投資その他の資産合計	298,527	306,291
固定資産合計	3,044,354	3,252,349
資産合計	4,410,829	4,660,673

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	281,913	289,062
短期借入金	750,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	158,328	153,328
リース債務	68,669	67,978
未払金	272,974	259,876
未払費用	121,004	121,296
未払法人税等	80,577	98,569
未払消費税等	13,815	6,291
賞与引当金	62,051	63,799
役員賞与引当金	—	7,600
その他	7,516	8,230
流動負債合計	1,816,851	1,876,032
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	613,344	560,016
リース債務	152,638	133,077
役員退職慰労引当金	91,815	103,815
退職給付に係る負債	34,914	26,513
その他	2,630	2,687
固定負債合計	995,342	926,109
負債合計	2,812,194	2,802,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	222,000	222,000
資本剰余金	134,400	134,400
利益剰余金	3,491,690	3,747,673
自己株式	△305,929	△306,040
株主資本合計	3,542,161	3,798,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,869	△6,844
土地再評価差額金	△1,932,656	△1,932,656
その他の包括利益累計額合計	△1,943,525	△1,939,501
純資産合計	1,598,635	1,858,530
負債純資産合計	4,410,829	4,660,673

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,289,973	6,514,303
売上原価	4,076,920	4,232,897
売上総利益	2,213,052	2,281,406
販売費及び一般管理費	1,819,258	1,855,656
営業利益	393,793	425,750
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	2,753	2,932
受取家賃	12,772	2,609
助成金収入	2,000	2,930
その他	7,797	6,394
営業外収益合計	25,327	14,869
営業外費用		
支払利息	15,342	13,209
建物解体費用	8,500	—
その他	1,744	1,365
営業外費用合計	25,587	14,575
経常利益	393,534	426,044
特別利益		
固定資産売却益	—	289
特別利益合計	—	289
特別損失		
固定資産除却損	1,266	3,647
特別損失合計	1,266	3,647
税金等調整前当期純利益	392,268	422,687
法人税、住民税及び事業税	115,715	141,633
法人税等調整額	10,364	747
法人税等合計	126,080	142,381
当期純利益	266,188	280,305
親会社株主に帰属する当期純利益	266,188	280,305

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	266,188	280,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,509	4,024
その他の包括利益合計	△4,509	4,024
包括利益	261,678	284,330
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	261,678	284,330

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	222,000	134,400	3,249,825	△305,763	3,300,462
当期変動額					
剰余金の配当			△24,323		△24,323
親会社株主に帰属する当期純利益			266,188		266,188
自己株式の取得				△165	△165
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	241,864	△165	241,699
当期末残高	222,000	134,400	3,491,690	△305,929	3,542,161

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△6,360	△1,932,656	△1,939,016	1,361,445
当期変動額				
剰余金の配当				△24,323
親会社株主に帰属する当期純利益				266,188
自己株式の取得				△165
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,509	—	△4,509	△4,509
当期変動額合計	△4,509	—	△4,509	237,190
当期末残高	△10,869	△1,932,656	△1,943,525	1,598,635

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	222,000	134,400	3,491,690	△305,929	3,542,161
当期変動額					
剰余金の配当			△24,322		△24,322
親会社株主に帰属する当期純利益			280,305		280,305
自己株式の取得				△111	△111
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	255,982	△111	255,870
当期末残高	222,000	134,400	3,747,673	△306,040	3,798,032

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△10,869	△1,932,656	△1,943,525	1,598,635
当期変動額				
剰余金の配当				△24,322
親会社株主に帰属する当期純利益				280,305
自己株式の取得				△111
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,024	—	4,024	4,024
当期変動額合計	4,024	—	4,024	259,895
当期末残高	△6,844	△1,932,656	△1,939,501	1,858,530

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	392,268	422,687
減価償却費	302,575	321,157
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△326	71
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△611	1,748
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	7,600
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,250	12,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7,683	△8,400
受取利息及び受取配当金	△2,757	△2,935
支払利息	15,342	13,209
固定資産売却益	—	△289
固定資産除却損	1,266	3,647
売上債権の増減額 (△は増加)	71,679	2,082
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,325	△22,091
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	3,157	△11,949
仕入債務の増減額 (△は減少)	△214,258	7,148
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△21,204	△2,312
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△23,889
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△88,241	21,734
その他	△820	1,783
小計	460,308	743,001
利息及び配当金の受取額	2,757	2,935
利息の支払額	△15,358	△13,128
法人税等の支払額	△95,576	△125,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	352,131	607,516
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△187,880	△489,778
無形固定資産の取得による支出	△15,629	△19,054
その他	△8,529	△5,978
投資活動によるキャッシュ・フロー	△212,039	△514,812
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500,000	50,000
長期借入れによる収入	400,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△258,328	△158,328
自己株式の取得による支出	△165	△111
配当金の支払額	△24,287	△24,396
リース債務の返済による支出	△75,985	△73,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△458,766	△106,606
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△318,675	△13,902
現金及び現金同等物の期首残高	661,667	342,992
現金及び現金同等物の期末残高	342,992	329,090

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「助成金収入」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた9,797千円は、「助成金収入」2,000千円、「その他」7,797千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

当社グループはロングライフパンの製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	460.08円	534.88円
1株当たり当期純利益金額	76.61円	80.67円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	266,188	280,305
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	266,188	280,305
期中平均株式数(千株)	3,474	3,474

(重要な後発事象)

該当事項はありません。